

【地図編】 マップに関する説明

河川別の記載箇所

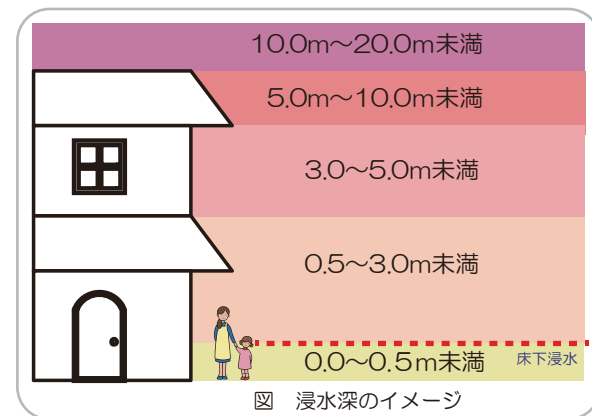
	吉野川	旧吉野川	宮川内谷川
全体図	P.18	P.19、20	P.21、22
拡大図	—	P.23～50	P.51～58

洪水浸水想定区域について

洪水や内水氾濫によって、市街地や家屋、田畑が水で覆われることを浸水といい、その深さ（浸水域の地面から水面までの高さ）を「浸水深」といいます。

一般の家屋では、浸水深が50cm未満の場合は床下浸水、50cm以上になると床上浸水になる恐れがあります。

そのため、早期の避難を心がけるようにしましょう。



家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸浸食が発生するおそれのある区域のことです。災害時は、避難勧告等に従って当該区域から安全な場所に速やかに避難する必要があります。

○ 家屋倒壊等氾濫想定区域（洪水氾濫）



・・・洪水氾濫流によって、家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲のことです。

○ 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）



・・・洪水時の河岸浸食によって、家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲のことです。

土砂災害警戒区域について

土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）」により知事が指定した区域です。

○ 土砂災害警戒区域

・・・土砂災害が想定される区域



土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）



土砂災害警戒区域（土石流）



土砂災害警戒区域（地すべり）

○ 土砂災害特別警戒区域

・・・土砂災害警戒区域のうち、建築物に損害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れのある区域



土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

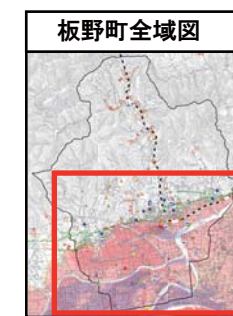


土砂災害特別警戒区域（土石流）

吉野川 洪水浸水想定区域図

想定最大規模と計画規模の違い

吉野川の氾濫による浸水想定区域は、概ね千年に1回程度発生する恐れのある『想定最大規模』と概ね百五十年に1回程度発生する恐れのある『計画規模』の大雨の条件を基に、各所堤防の決壊や堤防が整備されていない区間が溢水した場合を想定し、それぞれを重ね合わせ、各地域において想定される最大浸水範囲と浸水深を色分けして示しています。

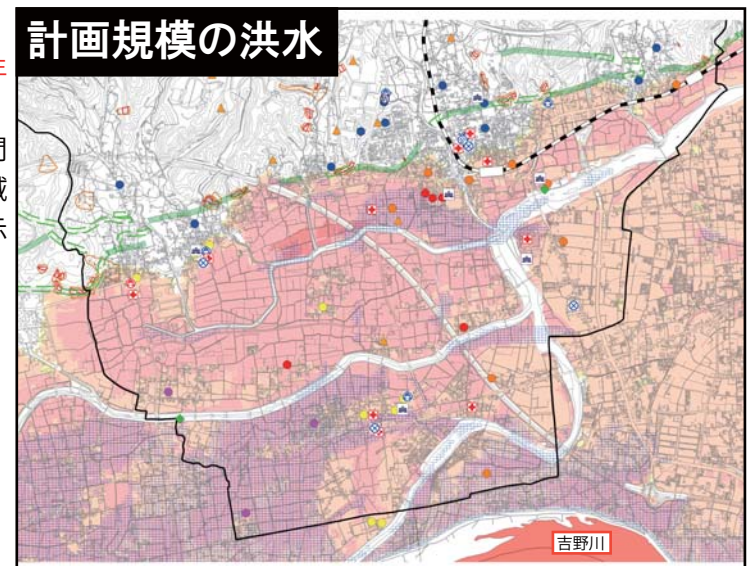


浸水想定区域

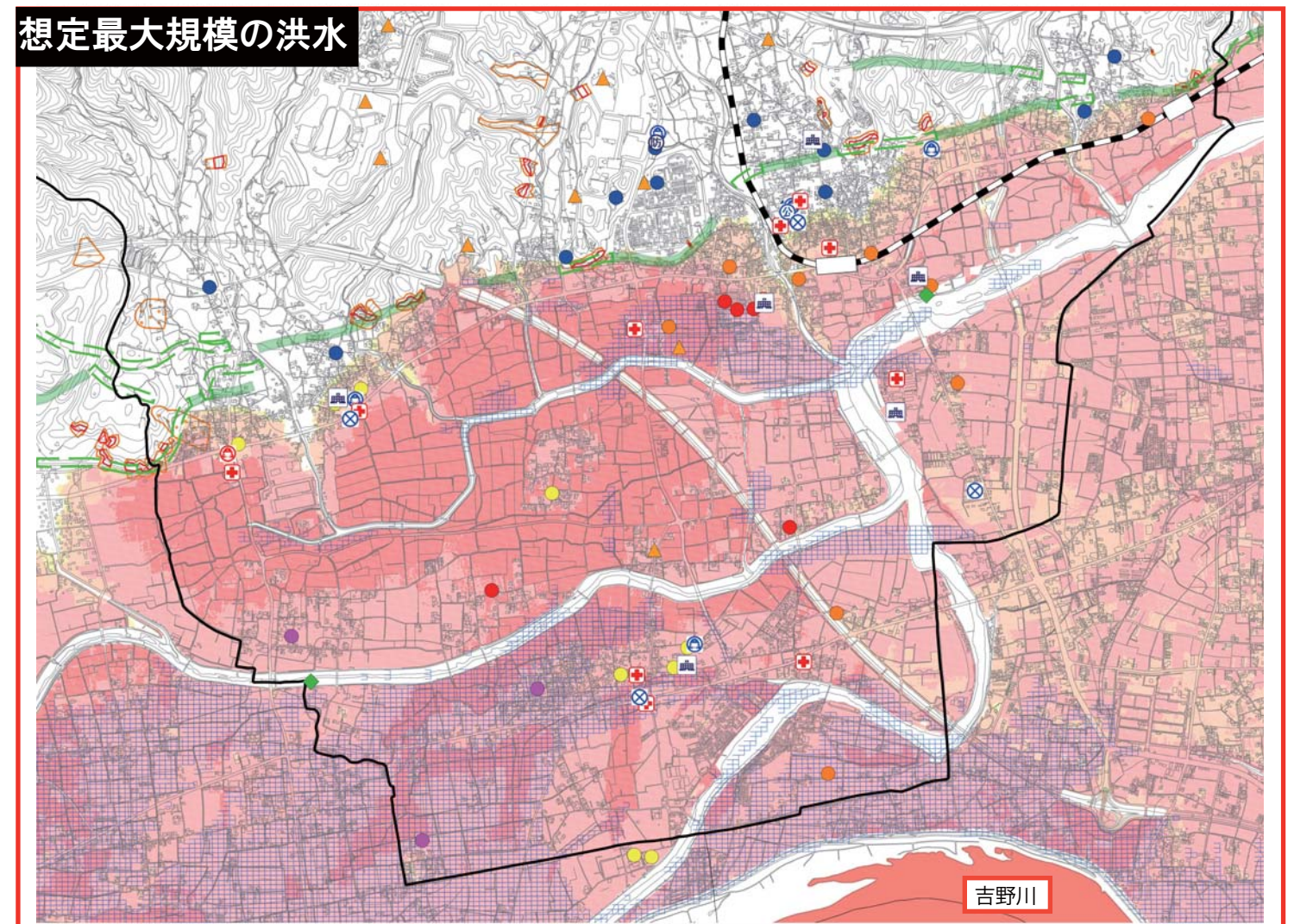
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 10.0m～20.0m
- 5.0m～10.0m
- 3.0m～5.0m
- 0.5m～3.0m
- 0.5m未満
- 家屋倒壊等（氾濫流）

計画規模の洪水



想定最大規模の洪水



土砂災害特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域（急）

土砂災害特別警戒区域（土）

活断層

特定活断層調査区域

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域（急）

土砂災害警戒区域（土）

土砂災害警戒区域（地）

役立つ情報

町役場

学校

警察署

病院

消防署

消防団

水防倉庫

その他（施設）

指定避難所・指定緊急避難場所

洪水時用

吉野川洪水氾濫時は使用不可

吉野川・旧吉野川洪水時は使用不可

吉野川・宮川内谷川洪水氾濫時は使用不可

吉野川・旧吉野川・宮川内谷川洪水氾濫時は使用不可

水位観測所

活断層の調査を推奨する区域